第85期　中間株主通信

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

株式会社GSIクレオス

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

当社は、第85期中間期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の営業を終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算をご報告申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成26年12月

代表取締役社長　中島浩二

第85期中間期の業績

当中間期におけるわが国経済は、雇用情勢や企業収益に改善が見られるなど緩やかな回復基調にあるものの、消費増税にともなう駆け込み需要後の反動減の長期化や天候不順などにより個人消費に足踏みが見られることや、円安の進行による原材料価格の上昇に加えて、欧州景気の停滞や中国経済の減速など海外景気に下振れ懸念があることから、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下、当中間期の業績は、売上高は、繊維関連取引が減少しましたので、前年同期比6,655百万円、8.7%減収の69,556百万円となり、売上総利益は、前年同期比215百万円、3.1%減益の6,745百万円となりました。営業利益は、一般管理費が増加しましたので、前年同期比584百万円、63.8%減益の331百万円となり、経常利益は、前年同期比206百万円、30.6%減益の469百万円、中間純利益は、前年同期比229百万円、48.8%減益の240百万円となりました。

第85期中間期業績

売上高	69,556百万円	前年同期比	△8.7%
営業利益	331百万円	前年同期比	△63.8%
経常利益	469百万円	前年同期比	△30.6%
中間純利益	240百万円	前年同期比	△48.8%

通期の見通し

下半期の経営環境につきましては、わが国経済は、円安による原材料価格の高止まりや消費回復の遅れが見込まれるとともに、欧州・中国経済の下振れ懸念が依然として払拭されず、先行き不透明な状況が続くものと思われます。

こうした状況下、当社グループは、引き続き、海外売上高の拡大と収益性の向上を重点施策とし、各事業の採算とリスクの管理を徹底することで、収益基盤の強化を図るとともに、財務体質の改善を進めてまいります。

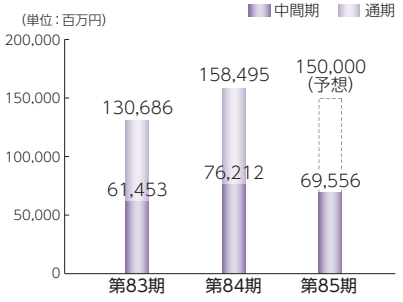
なお、ナノテクノロジー事業は、本年8月に、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）による「低炭素社会を実現するナノ炭素材料実用化プロジェクト」の助成事業に、当社の「カーボンナノチューブ超高分散材料の大量生産技術の開発」が採択されるなど、事業化を促進しています。

第85期通期見通し

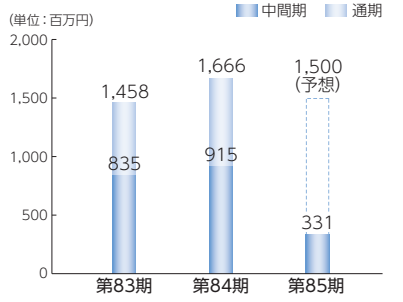
売　上　高	150,000百万円
営 業 利 益	1,500百万円
経 常 利 益	1,200百万円
当期純利益	1,000百万円

業績の推移（連結）

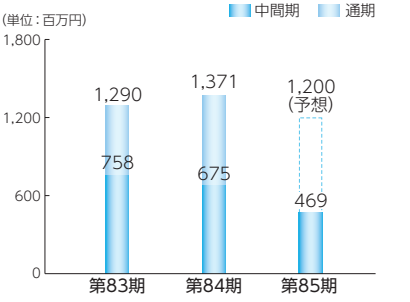
売上高



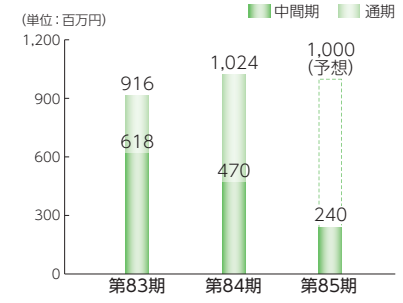
営業利益



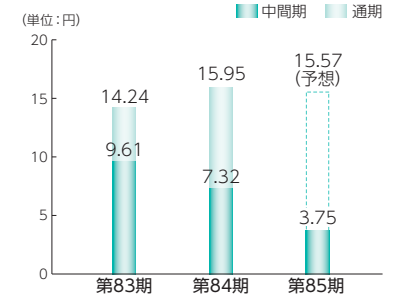
経常利益



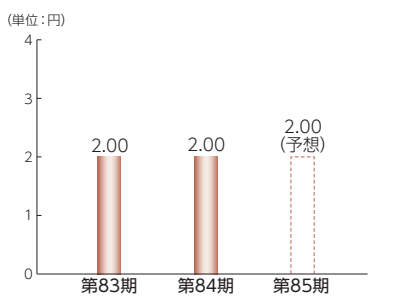
当期純利益



1株当たり当期純利益



配当金



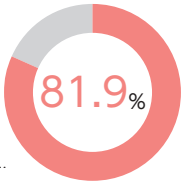
セグメント別概況

繊維事業

主要商品：
繊維原料、テキスタイル、
レッグ・インナー・
アウターウェア　他

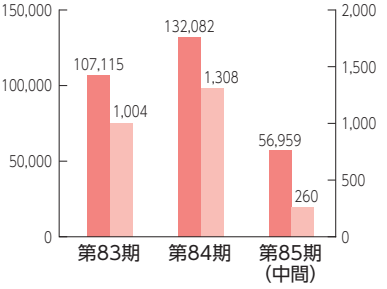
売上高	56,959百万円	
	前年同期比	△9.9%
営業利益	260百万円	
	前年同期比	△68.4%

売上構成比



- 機能性の高いインナー用の原糸・生地や企画提案型の婦人ファンデーションの取引は、個人消費の不振により減少しました。
- アウター用の生地輸出は、米国向けが好調に推移したことに加え、欧州やアジア向けも増加しましたが、アウター製品のOEM取引は、婦人向け、紳士向けともに減少しました。また、婦人アパレル事業も、販売が伸びず苦戦しました。

■売上高／■営業利益　(単位：百万円)

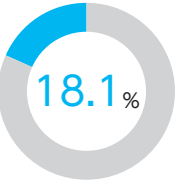


工業製品事業

主要商品：
化学品、機械装置・資材、
ホビー・生活関連品　他

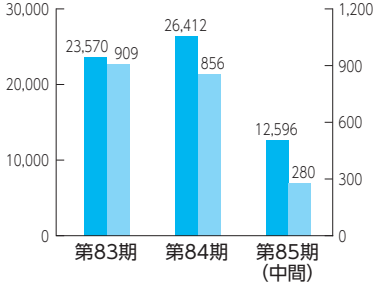
売上高	12,596百万円	
	前年同期比	△3.0%
営業利益	280百万円	
	前年同期比	△8.8%

売上構成比



- 塗料・樹脂の硬化用添加剤は、欧米やアジアでの取引が伸長し、フィルムの取引は、前年並みとなりましたが、機械の取り扱いは減少しました。また、理化学機器や化粧品原料などの輸入品は、円安進行の影響を受けて利益率が低下しました。
- ホビー関連商品は、輸出が増加したプラモデル用塗料が堅調に推移しました。

■売上高／■営業利益　(単位：百万円)



タイ・バンコクに現地法人を設立
－東南アジアビジネスの拡大に向けて－

GSIタイランド社

当社は、タイ・バンコクに現地法人を設立し、本年8月より営業を開始しました。

ASEAN諸国は、2015年末にASEAN経済共同体（AEC）を発足させる予定で、なかでもタイは、この域内を東西、南北に通る経済回廊が交わる要衝となることから、生産拠点のみならず、物流をはじめとするサプライチェーンの中心となることが予測されます。

このような立地環境を活かし、繊維事業においては、コストメリットを追求し、素材調達機能の強化と加工・縫製拠点の確保により、製品の一貫生産に取り組んでまいります。また、工業製品事業においては、ASEAN地域内での需要増が期待される化粧品原料、塗料・コーティング原料や樹脂・プラスチックフィルムなどを中心に、幅広い商材の輸出入を行ってまいります。

現地法人の概要	
法 人 名	GSI Creos (Thailand) Co., Ltd. (GSIタイランド社)
資 本 金	1,000万バーツ

ミセス向け新ブランド「FRICOT PLUS（フリコプラス）」を市場に投入
－新たな世代のお客様の獲得と直営店事業の拡大を目指して－（株）クレオスアパレル

当社の連結子会社である株式会社クレオスアパレルは、本年9月に、新ブランド「FRICOT PLUS（フリコプラス）」を市場に投入しました。

新ブランドは、ターゲットを「働き盛りの大人の女性」に設定し、世界の最新トレンドを商品企画に反映させるとともに、高級輸入生地など上質の素材を使用した、高感度で高品質な商品となっています。品揃えは、ブラウス、ニット、ジャケット、コート、雑貨など幅広く、大きいサイズ（15号）も取り揃えており、多くのお客様にご着用いただくことができます。

今後は、全国に約70店舗を有する直営店において、このブランドの商品を増やすことにより、収益性の向上と直営店事業の拡大に取り組んでまいります。

2014年秋冬コレクション

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目		当中間期 平成26年9月30日現在	前期 平成26年3月31日現在
資産の部	流動資産	55,487	54,769
	固定資産	11,968	12,060
	有形固定資産	5,393	5,414
	無形固定資産	945	974
	投資その他の資産	5,629	5,671
資産合計		67,456	66,829
負債の部	流動負債	49,879	48,913
	固定負債	2,547	3,123
負債合計		52,426	52,036
純資産の部	株主資本	14,959	14,793
	その他の包括利益累計額	20	△50
	少数株主持分	49	49
純資産合計		15,029	14,792
負債純資産合計		67,456	66,829

連結貸借対照表(要旨)のポイント

資産

商品の増加等により、前期末比626百万円の増加

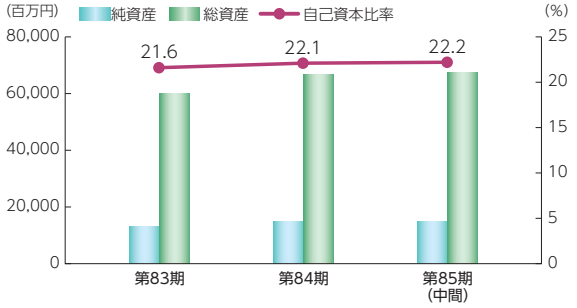
負債

仕入債務の増加等により、前期末比389百万円の増加

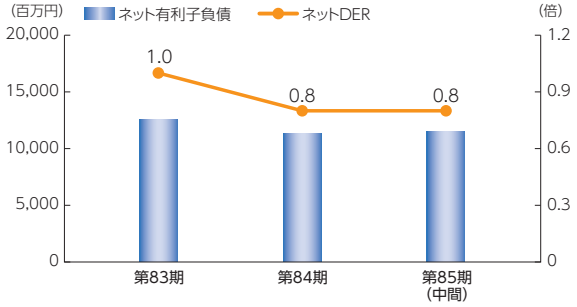
純資産

中間純利益による株主資本の増加等により、前期末比237百万円の増加

純資産(百万円)／総資産(百万円)／自己資本比率(%)



ネット有利子負債(百万円)／ネットDER(倍)



当社ホームページ(IR情報ページ)のご案内

当社ホームページのIR情報のページでは、決算短信や有価証券報告書等のIR情報をご覧いただけます。より詳細な情報については、以下のアドレスにアクセスくださいますようお願いいたします。

http://www.gsi.co.jp/ir

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

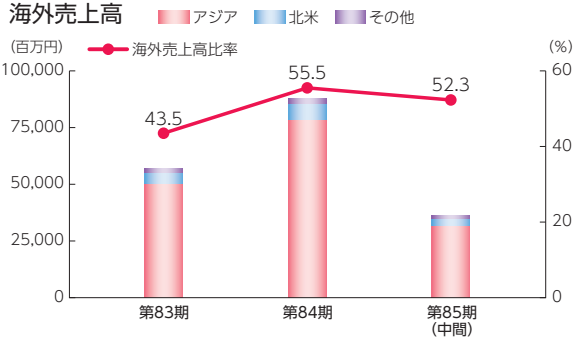
科　目	当中間期 平成26年4月1日～ 平成26年9月30日	前中間期 平成25年4月1日～ 平成25年9月30日
売上高	**69,556**	**76,212**
売上原価	62,811	69,251
売上総利益	**6,745**	**6,960**
販売費及び一般管理費	6,413	6,044
営業利益	**331**	**915**
営業外収益	351	106
営業外費用	214	346
経常利益	**469**	**675**
特別利益	－	3
特別損失	51	64
税金等調整前中間純利益	**418**	**614**
法人税等合計	177	143
少数株主利益	0	0
中間純利益	**240**	**470**

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

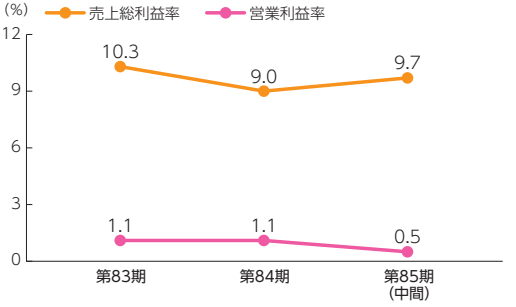
(単位:百万円)

科　目	当中間期 平成26年4月1日～ 平成26年9月30日	前中間期 平成25年4月1日～ 平成25年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	**495**	**△433**
投資活動による キャッシュ・フロー	**△0**	**△39**
財務活動による キャッシュ・フロー	**△754**	**117**
現金及び現金同等物の 中間期末残高	**7,917**	**7,928**

海外売上高



売上総利益率(%)／営業利益率(%)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)のポイント

営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務の増加により、495百万円の増加

財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済による支出により、754百万円の減少

会社概要 (平成26年9月30日現在)

■会社の概要

会社名	株式会社GSIクレオス
本社	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
設立	1931年10月31日
資本金	71億86百万円
従業員数	625名(連結)
拠点	国内 9ヶ所　海外 16ヶ所
連結子会社	国内 7社　海外 8社
ホームページ	http://www.gsi.co.jp

■役員

代表取締役 取締役社長	中島浩二	取締役	荒木靖司
常務取締役	宮崎満	取締役	富田正憲
常務取締役	松下康彦	取締役	新美一夫
常務取締役	吉永直明	常勤監査役	浅野幹雄
取締役	田中正道	監査役	石川均
取締役	中山正輝	社外監査役	岩田紀治
		社外監査役	金井博芳

株式の状況(平成26年9月30日現在)

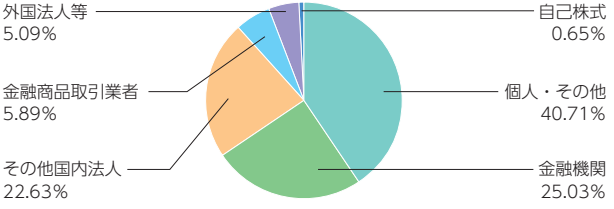
発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	64,649,715株 (自己株式418,531株を含む)
株主数	6,239名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
グンゼ株式会社	9,321	14.51
株式会社みずほ銀行	3,182	4.95
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,172	4.94
日本生命保険相互会社	2,328	3.63
東レ株式会社	1,982	3.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,317	2.05
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,196	1.86
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	919	1.43
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム アカウンツ エム エヌオーエム	776	1.21
株式会社SBI証券	651	1.01

(注) 持株比率については、自己株式(418,531株)を控除して算出し、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

株主構成(所有者別株式数の割合)



株主メモ

証券コード	8101
上場証券取引所	東京
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL：0120-232-711(通話料無料)
公告の方法	電子公告 当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載アドレス　http://www.gsi.co.jp/ir/notice (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)
1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

UD FONT
FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK